

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 26 No 10

302号

平成30年10月10日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

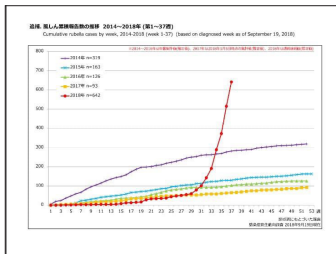
HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

また迫り来る風しんの脅威

院長

今年も関東地方を中心に風しんが流行し、東海地方にも広がってきています。2013-14年の1万4000人を超える大流行後、最大の流行となり感染者が増え続け、感染症研究所(9/26)の発表では642人となりました。風しんと麻疹とは成人が感染源となっていることは共通で、麻疹に関しては、CLINIC NEWSでも何度も取り上げてきました。今月号では、風しんの問題について改めて考えてみましょう。

風しんという病気は馴染みがないかもしれないので、簡単に病気について説明しましょう。風しんウイルスが原因で、飛沫で感染し、潜伏期は2~3週間です。感染力が強く、インフルエンザの5倍ほどの感染



力があるとされています。発熱、リンパ節腫脹、発疹が主症状で、発熱は半数程度で、数日で下がります。発疹はピンク色でかゆみがあり、顔面から始まり体、手足へと広がり3日ほどで消えるため、昔から三日はしかとも呼ばれています。成人では発熱や発疹の期間が子どもに比べて長く、多少症状が強くなる傾向があります。血小板減少性紫斑病(1/3,000~5,000人)、急性脳炎(1/4,000~6,000人)などの合併症もありますが、比較的稀です。また、感染したのに症状が出ない不顕性感染(15~30%)が多いことも特徴で、自分で気づかないうちに感染源となってしまいます。

三日はしかと呼ばれるほど症状は軽いのですが、とても深刻な問題を抱えています。それが、先天性風しん症候群(CRS)です。妊娠初期の母体が風しんに罹患すると胎児も感染し、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達遅滞等の障がいをもつ児が生まれる可能性があるのです。妊娠の時期によって発生頻度が変わりますが、妊娠12週までの罹患では発症の可能性が高くなること(25~90%)が示されています。CRSの症状は改善するものではなく、さらには治療法もないため、親御さんもお子さんも生涯にわたる大きな負担を背負うことになってしまいます。前回の大流行時には45例の先天性風しん症候群が確認され、不

幸にも11人のお子さんが亡くなりました。

CRSは本当に深刻な病気ですが、ワクチンで防げる病気であることを理解してください。子どもたちはMRワクチンの接種で(2回)ほぼ全員が免疫を持っています。前回流行時では罹患者の70%は男性で、うち20代~40代が80%を占め、今回の流行でも同様な状況です。30代後半から50代の男性の5人に1人、20代から30代前半の男性は10人に1人は免疫を持っていないとのデータがあります。しかしながら感染源となっているのは成人なのです。この男性たちが感染源となっていることが問題なのです。

麻疹や風しんが流行するたびにマスコミが取り上げ、国や自治体、加えて専門家から様々な注意喚起や対策が呼びかけられます。自分も流行のたびに麻疹も風しんも感染源は大人で、対策としてのワクチンの重要性を記事で伝えてきました。同じような記事を繰り返し書かなければならないことは、小児科医としてはとても悔しいことです。

原因は一体どこにあるのでしょうか。結局、すべては他人事という意識に起因し、自分には関係がない、私だけは大丈夫という誤った認識が繰り返しの元凶となっているのです。その意識が変わらない限り、今後も感染が続き、CRSも増え続けるのでしょうか。

ここで改めて悔しい思いを込めて繰り返し書きます。麻疹と風しん予防にはワクチンしかありません。しかしながら、未接種者や1回接種者が問題であり、成人男性の感染が問題なのです。

- 1.MR ワクチン定期接種を早めに接種
- 2.MR ワクチン未接種者は、緊急に接種
3. ワクチン1回接種者は、MR ワクチン追加接種(2回接種)
4. 30才~50歳代男性も、社会を守るためにMR ワクチン接種

まずは病気を理解することから始めましょう。今回の記事を読んで思い当たる場合には、医療機関を受診してください。風しんの経験の少ない内科系の医療機関では、溶連菌感染症、伝染性紅斑などの似た症状を示す発熱発疹性疾患と誤られる場合もあることを覚えておき、「風しんではないでしょうか」の一言も付け加えるようにしてください。

学校感染症に定められていて、発しんが消失するまで出席停止となります。加えて感染者把握の重要性から、感染症法では「全数報告対象であり、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出なければならない。」と定められています。

まずは自分は大丈夫との思いを捨て、自身の問題を自覚するために抗体価の検査を受けましょう。そして、家族や社会を守るという意識を持ち、成人男性が先頭に立ってワクチンを接種しましょう。

午後休診 10月のお知らせ

17日(水) 仙台市学校保健研究大会

・臨時休診

25(木)~27日(土)

全国学校保健・安全研究大会(鹿児島)

・栄養育児相談

3, 31日(水) 13:30~

栄養士担当



『子ども・子育て支援の都市仙台！ ネウボラを仙台に！！』

読者の広場

先月は5通のメールをいただきました。もう一つ10月2日は院長の誕生日でした。何歳かは秘密にしておきますが、次受診したら年齢当てクイズです。

まずは泉区の小野寺さんから医療相談というか、心配事の相談です。「お世話になっております小野寺裕良、柊弥、柊紗の母です。昨日は主人の母にお願いして柊弥を診ていただいたんですが、喉の炎症からくる熱だとききました。そうすると、普通の風邪とは違って熱が長引いたりするのでしょうか？今日のお昼の時点でもまだ39℃あり、こんなに長引くのは最近ないのと私が仕事を休めず直接看病していないのでもより心配になりました。このまま、様子見でもいいのでしょうか？それとも再度受診した方がいいのでしょうか？」

それに対して「メールありがとう。昨日お母さんには話したのですが、病名は扁桃炎です。喉に白い膿が付いています。扁桃炎は一般に高い熱が出て、熱が続くことが多いのです。薬が効くまで2-3日かかります。明後日になって熱が下がらない、具合が悪ければ早めに連れて来てください。病気の説明の紙を渡しているので、参考にしてください。実際には、そんなに心配はいりません。」と返信しました。その返信です。「小野寺柊弥の母です。早速の返信ありがとうございます！！先生に直接聞いて安心しました。メールして良かったです。あとは薬が早く効いて楽になってほしいです。まずはお礼まで。」もちろん、その後落ち着いたのは言うまでもありません。不思議に心配事がある時に誰かに聞いてもらうだけでも、心が少し心が軽くなるというものです。その役割を果たすのもかかりつけ医の役割で、当院が目指している「お母さんの不安・心配の解消」です。どんな相談ごとでも受けていますよ（笑）

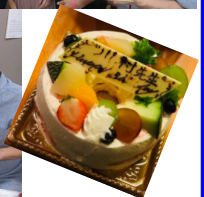
続いては青葉区の菅原さんからのお礼のメールです。「いつもお世話になっております。菅原悠希の母です。先日悠希が頭をぶつけた際、嘔吐止まらず早急に対応して頂いてありがとうございました。救命救急センターでCTを撮って異常なく帰宅しましたが、吐き続け心配だったところ診ていただき夕方までしっかり点滴をして頂いたお陰で、点滴後みるみる元気になっていくのに驚きました！翌日朝にはご飯も食べられるようになりすっかり回復しました。週末には幼稚園最後の運動会だったのですが、無事参加することが出来ました！本人もとても楽しみにしていたので、体調万全で参加できてとても嬉しそうでした！処置して頂いた翌日はお忙しい中、気にして下さりお電話まで頂いてしまい、恐縮です。川村先生をはじめ、看護師の皆さんにはいつも親身になって頂いて感謝の言葉しかありません。悠希を出産してからずっとお世話になっていますが、これからも親子共々よろしくお願致します。」これも理念を証明してくれる、ありがたいメールでした。



10月2日は院長の誕生日

多くの方々からお祝いの言葉、特にFacebookでは100人を超える方々からあたたかいメッセージをいただきました。さらにプレゼントやお花に囲まれ、充実した日を過ごすことができました。この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。

ありがとうございました♪(´θ´)ノ



子どもの虐待防止推進フォーラム in みやぎ

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあり、児童虐待は社会全体で解決すべき重要な問題となっています。厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、今年は宮城県でフォーラムを開催します。

日時：10月28日 10:30～

場所：仙台国際センター

院長は第1分科会「医学的見地から見た児童虐待」のパネリストを担当。申し込みは <https://www.pref.miyagi.jp/ques/questionnaire.php?openid=137> (締切 10/15)

全国学校保健・安全研究大会による休診のお知らせ

10月25-26日に鹿児島で、全国学校保健・安全研究大会が開催されます。小松島小学校で10年継続している活動について、「親子で学ぼう命のつながり」による性に関する健康教育を文科省の推薦で発表されます。

大会参加のため10月25-27日が休診となります。皆さんには大変迷惑をおかけしますが、文科省推薦に免じてご理解とご協力をお願いします。



Mail News, Facebook の紹介

Mail News は600人を超えるお母さんが登録し利用しています。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。下のQRコードから是非登録をお願いします。

その他の情報発信としてFacebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。最新情報はFBをどうぞ。Mail Newsが、かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。

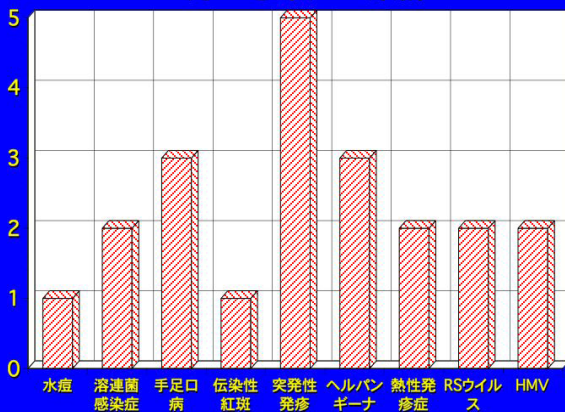


MailNews



Facebook

9月の感染症の集計



夏に多く見られる手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑などのウイルス感染症が目立ちます。また季節の変わり目で咳が目立つ気管支炎もあり、RSウイルス、ヒューマンメタニューモウイルスも出ています。何か特別ということではなく、先月も感染症が多かったです。まだインフルエンザはいません。

編集後記

今月は??歳の誕生日でした。果たして院長は何歳ののでしょうか。当然ながら、かなりのジジイですが、次受診した時には、「院長年齢当てクイズ」がトレンドになっているかもしれません。

本当に忙しい、今月も3回の講演があり、さすが、文科省の推薦、仙台市の依頼を断るわけには行けません。仙台市学校保健研究大会は、来年5月新潟の講演に繋がっています。それにしても忙しい（笑）



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！